



研修  
レポート

# 4つの委員会が視てきたもの これから活かすもの

## 総務文教委員会

平成18年5月15日～17日

北海道 恵庭市(人口: 50,517人)  
江別市(人口:123,070人)

委員長 池田 光政

北海道恵庭市へ「起業家教育」について、江別市へ「地域担当職員制度」について行政視察を行った。

恵庭市では、北海道の取り組みとして、起業家精神を推進するために指定された実践協力校の研修視察である。市の教育委員会生涯学習部担当課長と小学校の教頭より説明と報告を受けた。起業家教育とは、産業の活性化を担う人材を育成するため、フィンランドの起業家精神教育の考え方同様、児童生徒の発達に応じ、様々な産業や職業に興味や関心を持ち理解を深め、将来、社会人として必要な自

立心、チャレンジ精神を培う事である。研究内容は①教育課程上の位置付け②起業家教育推進のための具体的なプログラム③推進のための効果的な校内指導体制④各学校間の連携のあり方等であった。

また江別市は、「行政評価システム」を導入し「市民・NPO・事業者・行政」が一体となつて協働のまちづくりをめざしている。

地域担当職員制度とは、地域の方と地域担当の職員が一緒に身近な課題解決のため「地域まちづくり会議」を通じ、話し合い、行動し協働のまちづくりをめざすものである。地域担当職員の仕事と役割は、①市の施策や事業の説明②まちづくりの提言、アイデア等、市の政策に活かす③地域の課題を地域の方々と共に解決のための話し合いをする④地域の皆さんが、魅力あるまちづくりをするための相談や情報の提供を行う等である。我が市でも役立つ内容の研修であった。

## 厚生委員会

平成18年5月17日～19日

東京都 府中市(人口:240,574人)  
神奈川県 藤沢市(人口:396,136人)

委員長 貝田義博

東京都府中市における「子育て支援」と神奈川県藤沢市の「児童虐待ネットワーク」の視察・研修を行った。

府中市では、子育て支援センター「たっち」を現場視察した。同施設は平成17年に京王線府中駅前の28階



研修風景(恵庭市)

建て再開発ビルの3階に設置されている。ビルには店舗や事務所、映画館もあり上層階は共同住宅にもなっている。

施設は、子育てに関する総合相談や子育てサロン事業(子育て情報の提供や各種学習会の開催)、親の買い物や休養を目的にした「リフレッシュ事業」など、多岐にわたる事業を実施している。映画を観るあいだ、子どもを預ける母親も多いとの説明には、少々驚き、また感心しきりであった。

児童虐待防止については、筑後市も今年2月に「要保護児童対策協議会」を発足していることから、先進地の藤沢市を視察した。

藤沢市では、平成13年に「児童虐待防止ネットワーク」を開設しており、早い時期から取組んでいることもあり、虐待防止に向けての体制と具体的活動ではかなり進んでいた。

特に虐待の発生に対する再発防止の具体的な活動では、対策に必要な「援助活動チーム」の活動内容が具現化され、関係機関の連携

## 7月 臨時議会 報告

7月31日に第22回臨時議会が召集されました。審議した議案は1件でした。

◆筑後市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

「賛成多数 原案可決」  
健康保険法の改正に伴い、いわゆる「現役並み所得」の70歳～74歳の被保険者の一部負担金が2割から3割に引き上げられたほか、出産育児一時金を5万円引き上げて35万円とするものです。

議案審議にあたっては、

税法改正によって、「現役並み」とされる基準所得額が引き下げられるため、以前の基準では筑後市における対象者が50人であったのに、126人に増加することについて質疑が行われました。